

# 日本医史学雑誌 第四十八卷 第二号 目次

## 原著

- 『重訂解体新書』所引の中国書籍の研究——『医学原始』と『物理小識』について……………陶 惠寧……………一五  
 新に確定された青洲の乳癌患者三名の死亡年月日……………松木 明知……………一七  
 医学館における医学考試について(二)……………戸出 一郎……………一八  
 多御少女の房中術に関する医学的検証……………嚴 善昭……………二〇  
 研究ノート  
 日韓生薬学交流史——杉原徳行の業績と評価……………渡辺晴香、金 善珉、丁 宗鐵……………二九

## 資料

- 吉益家門人録(四)……………町 泉寿郎……………三六  
 癸亥 春林軒統薬方冊(三)……………高橋 均、坂田育弘、児玉重隆……………三五  
 「達生園門生録 附醇生庵探領伝授録」について……………梶谷 光弘……………三六

## 追悼

- 追悼 吉田 信 先生……………島田 保久……………三九  
 大村 敏郎 先生を悼む……………大滝 紀雄……………三九  
 長崎学の泰斗 中西 啓 先生を悼む……………相川 忠臣……………三一

## 記事

- 例会記録  
 例会抄録  
 江戸幕府寄合医師添田玄春の日々の暮し……………深瀬 泰且……………三四

断種法史上の人びと(その五)―三宅鑽一―	岡田 靖雄	三〇六
書籍紹介		
見市雅俊ほか編『疫病・開発・帝国医療―アジアにおける病氣と医療の歴史学』	渡部 幹夫	三〇八
中西淳朗『仙花堂医史往来』	北小路博央	三〇〇
澤田祐介『蘇る医神アスクレピオスの物語』	星 和夫	三二一
加納喜光『風水と身体』	猪飼 祥夫	三三三

文庫めぐり

龍谷大学大宮図書館	真柳 誠	三二八
-----------	------	-----

《本号の表紙絵》

P. F. V. シーボルト胸像

(築地明石町・あかつき公園内)

明治時代の地図をみると、明石町の新栄橋、新港橋、明石橋にかこまれて三角形の掘割りがある。現在は埋立てられて「あかつき公園」となっている。

そこに大シーボルトの胸像が14年前に作られた。この胸像は“オランダのライデン大学とイサーク アルフレット・エリオン財団から日蘭友好を目的として、朝日新聞社の協力によって中央区に寄贈された。昭和63年6月18日”という説明が銘板にかゝられている。

翌年の1989年は日蘭修好380周年に当り、日本では平成と年号の変った年であった。昨年の2001年は、新世紀に入って両国の交流開始400周年を数えた年であった。

築地のシーボルト像は時代の境目を見つめているように見える。公園の北端の外に「蘭学発祥の地」がある。(中西 淳朗)